

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-1-1		
事業名：荒浜大通線道路整備事業（市街地相互の接続道路）		
事業費：総額 1,868,675 千円 国費 1,448,223 千円 （内訳：用地費 177,335 千円、補償費 129,128 千円、設計費 111,090 千円、 工事費 1,451,122 千円）		
事業期間：平成 24 年度～令和 2 年度		
事業目的：本路線は、わたり温泉鳥の海を起点とし、沿線には防災公園、災害公営住宅及び防災 集団移転先団地の整備も行い、荒浜地区の新たな市街地形成と併せた避難道路整備で ある。従来、亘理中心市街地を結ぶ道路は、1 路線のみであることから、新たなまち づくりにおける定住人口、集客人口の増加を考慮し分散ルート確保が必要となり、 本線を市街地相互の主要道路として整備するものである。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果：町道荒浜大通線 L=3,720m W=11.5m、15.0m 荒浜地区から亘理中心部への道路網が構築され、スムーズな分散ルートが確保された。 また、新たな市街地形成に対し、「暮らしやすさ」と「亘理らしさ」があふれるまちづ くり寄与している。		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価		
○当該事業で整備した避難道路は、災害発生時、亘理中心市街部への迅速な避難を可能にし たとともに、いままで市街地まで 1 路線であった道路網を分散したことにより安全な内陸部 への避難を可能にした。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判 断する。		
② コストに関する調査・分析・評価		
○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設 計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 8 月～平成 30 年 11 月
用地	平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月	平成 26 年 12 月～平成 31 年 2 月
工事	平成 25 年 7 月～平成 31 年 3 月	平成 27 年 1 月～令和 2 年 12 月
○本事業は平成 24 年 8 月に事業に着手し、県道協議や他の復旧復興事業との調整も行いなが ら、令和 2 年 12 月に整備を終えており、当初想定した期間より時間を要したものの、競争入 札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。		
事業担当部局		
亘理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507		